

理事長式辞

青森公立大学に入学されました学部生318名、研究生5名の皆さん、まことにおめでとうございます。希望に満ちた新入生の方々を目の前にして、晴れやかな入学式を挙行できたことは大変喜ばしく、教職員一同皆さんを心から歓迎いたします。そして、これまで皆さんを、しっかりと支えてこられたご家族はじめ関係者の方々には、心からお祝い申し上げます。

また、青森市長小野寺晃彦様、青森市議会副議長藤田誠様には、ご多忙の中、御来賓として御臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、青森公立大学は、平成5年に青森市を始めとする地域住民の皆様の熱い想いと、温かいご支援により経営経済学の分野に特化した大学として設立されました。開学以来、「教育に責任を持ち、社会に対して教育の質を保証する。」を教育理念の第一に掲げ、地域に根差した大学として歩んでまいりました。そして、「多くのことを教えすぎないこと」、「教えるべきことは徹底して教えること」、「常に『何故か』の問いを発し、自らの頭で考える知的訓練を課し、創造力を育てること」を教育の基本方針とし、学生教育には特段の努力を払ってきています。以来これまで、学部及び大学院合わせて7,800名以上の卒業生を輩出し、県内はもとより県外においても様々な分野で活躍しています。

現在もなお、新型コロナウイルス感染症が社会経済・国民生活に大きな影響を与えています。このような中であっても、感染症対策に細心の注意を払いつつ、皆さんが経営経済や教養科目の勉学に励むことができるよう、教職員一同しっかりとサポートしてまいります。

本学は、雄大な八甲田連峰の山裾にあり、豊かな青森平野と陸奥湾を展望できる緑あふれる自然に恵まれた立地環境にあります。このすばらしい学習環境の中で、将来の夢と希望の実現に向けて、勉学にしっかりと励み、深い専門性と豊かな教養を身に付けてください。

また、サークル活動に参加するなど、多くの人々との交流を通じて社会対応力を身に付け、新しいことに貪欲にチャレンジし、多くのことを学んでいただきたいと思います。

結びに、皆さんには、今日から青森公立大学の学生としての誇りと自覚を持って、楽しく充実した学生生活を過ごし大きく成長していくことを心から祈念申し上げます。

令和4年4月5日

公立大学法人 青森公立大学 理事長 石川浩明